

共に響き合う、京響

City of Kyoto Symphony Orchestra

70th Anniversary 京響

2026
4.10 金

Fri, April 10, 2026 / 7:00PM

開演：午後 7:00 (午後 6:00 開場)

4.11 土

Sat, April 11, 2026 / 2:30PM

開演：午後 2:30 (午後 1:30 開場)

R. シュトラウス：
交響詩「ドン・ファン」op. 20

R. Strauss: Don Juan, symphonic poem op. 20

矢代秋雄：チェロ協奏曲*

Akio Yashiro: Cello Concerto *

R. シュトラウス：家庭交響曲 op. 53

R. Strauss: Symphonía domestica op. 53

チェロ：
堤 剛*

Cello: Tsuyosbi Tsukumi *

© 鍋島徳泰

京都コンサートホール
大ホール

Kyoto Concert Hall
(Main Hall)

京都市営地下鉄丸九線「北山」駅下車 出口 1・3 番から南へ徒歩約 5 分

開演前は指揮者による「ブレイク」でお楽しみください。
4/10[金]公演=午後 6:30 頃、4/11[土]公演=午後 2:00 頃
「ブレイク」はホール・ステージ上にて開催します。



助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

入場料 2026.2.6 [金] から発売
¥6,000 ¥5,500 ¥4,500
¥3,500 ¥3,000 (舞台後方席)

U30 [前売] 一般発売に併せて販売 ¥2,500 ¥2,000 ¥1,500

※チケット購入時点で 30 歳以下のお客様が対象。ご入場の際には年齢の確認ができる証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご携帯ください。
※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。
※販売席数は限定。

U30 [当日] 当日残席がある場合のみ発売 ¥2,500 ¥2,000 ¥1,500 ¥1,000 ¥1,000

※チケット購入時点で 30 歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書のご提示が必要となります。※開演 1 時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。

金曜ペアチケット (4/10 公演) ¥10,000 ¥9,000 ¥8,000

※2 名様での購入がお得なチケットです。※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>、チケットカウンターで販売 (チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。※他の割引(特典等との併用はできません (京響友の会、Club 会員、障がい者割引))。※前売販売のみ。

◆1 歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員 10 名)をご利用ください。(お子様お 1 人につき 1,000 円 / 2026 年 4 月 3 日までに京響 075-222-0347 へお申込みください) ◆10 枚以上のチケットお申込みには団体割引 (10%OFF) があります。京響 075-222-0347 までお問い合わせください。◆障がいのある方ご本人及び介助の方 1 名に限り 1 割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い (窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

主催：京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
協力：株式会社ドルチェ楽器 後援：(株)エフエム京都

協賛：ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ、スターツグループ

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

ROHM
SEMICONDUCTOR

シーズンの幕開けは、沖澤のどかの代名詞ともいえる交響詩「ドン・ファン」！R. シュトラウスの作品は沖澤×京響にとって大切な軸のひとつで、2025年3月の「英雄の生涯」では大好評を博しました。交響詩「ドン・ファン」では、伝説の色事師ドン・ファンの情熱そして挫折が、「家庭交響曲」では、妻、夫、子が登場し、家庭内でのやり取りが巧みに描かれています。そんな音世界を、沖澤のダイナミックかつ緻密なタクトでお楽しみください。

また、R. シュトラウス作品とともにお届けするのは、没後50年を迎える矢代秋雄のチェロ協奏曲。ソリストには、令和6年に文化勲章を受章した、堤剛（つつみ・つよし）を迎えます。1960年に本作品を初演した堤の、そこから66年の時を経たレジェンドによるチェロの響きにも注目です。

沖澤 のどか（常任指揮者）

Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

指揮

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞と聴衆賞を受賞。2018年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝。第28回（2020年度）渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第21回（2022年度）齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門、第1回（2023年度）毎日芸術賞ユニクロ賞、青森市長特別未来賞、令和6年度京都市芸術新人賞など受賞多数。セイジ・オザワ松本フェスティバル首席客演指揮者。ミュンヘン響2022/23シーズンのアーティスト・イン・レジデンス。「青い海と森の音楽祭」芸術総監督。2020-22年ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ベレンコ氏のアシスタント。2025/26シーズンは、ロンドン・フィル、ドルトムント・フィル、ボストン響ヘデビュー、エストレマダラー響、ウィニペグ響、メルボルン響へ再登場のほか、タスマニア響とオークランド・フィルも指揮する。また、最近の特筆すべきデビューとして、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管、N響、バーゼル室内管、ケベック響、BBC ウェールズ・ナショナル管での成功が挙げられる。日本でも読響、都響、N響、日本フィルなどへ定期的に客演。東京二期会では2020年11月にレハール『メリー・ウィドー』、2025年2月にはビゼー『カルメン』を指揮した。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでC. エーヴァルトとH. D. バウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。



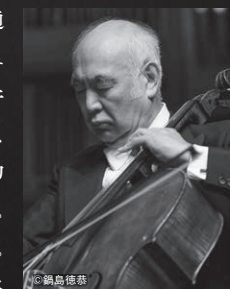
©Felix Broede

堤 剛

Cello: Tsuyoshi Tsutsumi

チェロ

名実ともに日本を代表するチェリスト。桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校音楽科を通じ齋藤秀雄に師事。1961年インディアナ大学に留学し、ヤーノシュ・シュタルケルに師事。1963年ミュンヘン国際コンクールで第2位、ブダペストでのカザルス国際コンクールで第1位入賞。これまでに鳥井音楽賞（現サントリー音楽賞）、ウジェヌ・イザイ・メダル（ベルギー）、芸術祭放送大賞、芸術祭優秀賞、レコードアカデミー賞、モービル音楽賞、N響有馬賞、日本藝術院賞、中島健蔵音楽賞、ウィーン市功労名誉金賞、毎日芸術賞（音楽部門）、文化庁創立五十周年記念表彰など多数受賞、表彰されている。2009年秋の紫綬褒章を受章。また同年、天皇陛下御在位二十年記念式典にて御前演奏を行った。2013年、文化功労者に選出。2020年のウィーン・フィルハーモニー管弦楽団日本公演においてソリストを務め、大反響を呼んだ。2024年、クラシック音楽の器楽奏者として初めて文化勲章を受章。カナダ・西オンタリオ大学准教授、アメリカ・イリノイ大学教授、インディアナ大学教授を経て現在、桐朋学園大学特命教授（元学長2004-13年）。霧島国際音楽祭音楽監督。公益財団法人サントリー芸術財団代表理事、サントリーホール館長、日本チェロ協会理事長、日本演奏連盟理事。日本芸術院会員。



© 鍋島徳恭

City of Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、ロームシアター京都でのオペラやコンサートのほか、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリースを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2026年は創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。



©井上巧典事務所 井上道和

次回予告
第711回
定期演奏会

2026.2/13
から発売!



シルヴァン・カンブルラン

巨匠カンブルランによる、マーラー交響曲第6番「悲劇的」
突如振り下ろされるハンマーによる「運命の打撃」をご体感あれ

会場：京都コンサートホール・大ホール 指揮：シルヴァン・カンブルラン

2026. 5.15 金 午後7:00 開演 5.16 土 午後2:30 開演

入場料
S 6,000円 A 5,500円 B 4,500円
C 3,500円 D 3,000円（舞台後方席）

U30（前売） S 2,500円 A 2,000円 B 1,500円 金曜ペアチケット（5/15公演） S 10,000円 A 9,000円 B 8,000円

曲目 マーラー：交響曲 第6番 1短調「悲劇的」